

1/2号機排気筒ドレンサンプピットの対応について

2021年6月7日

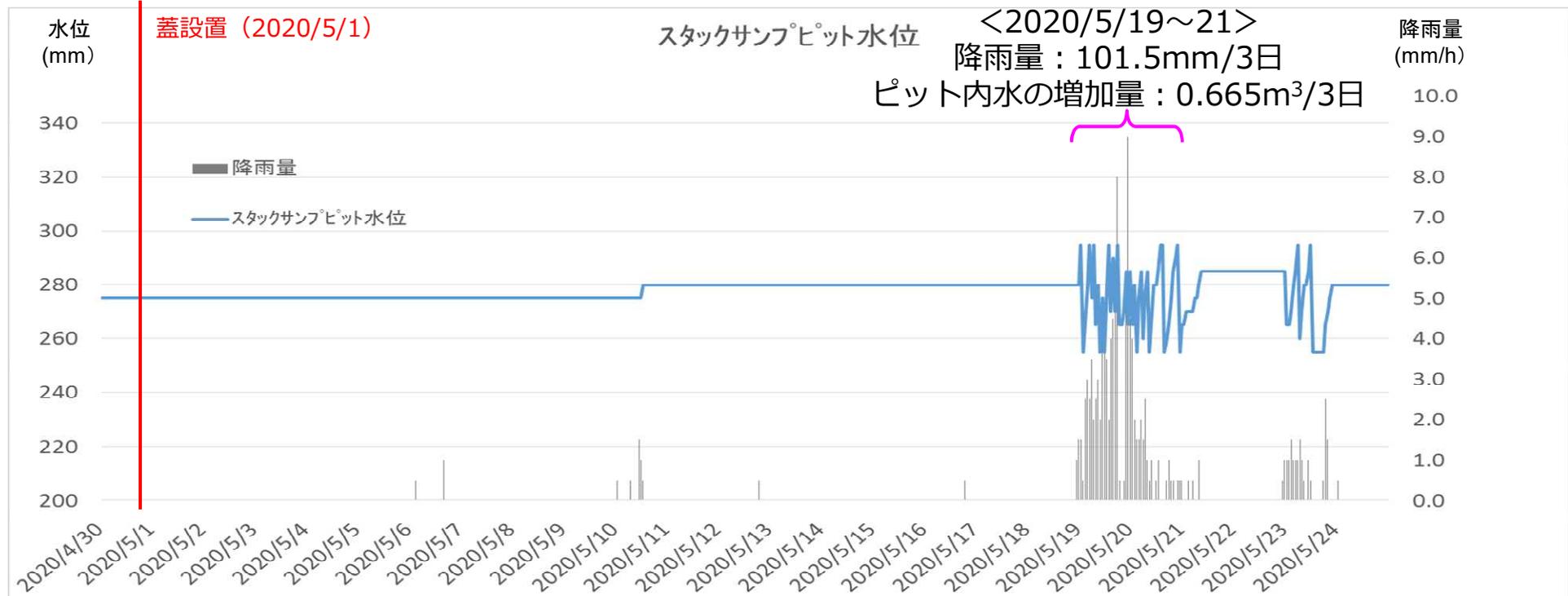


東京電力ホールディングス株式会社

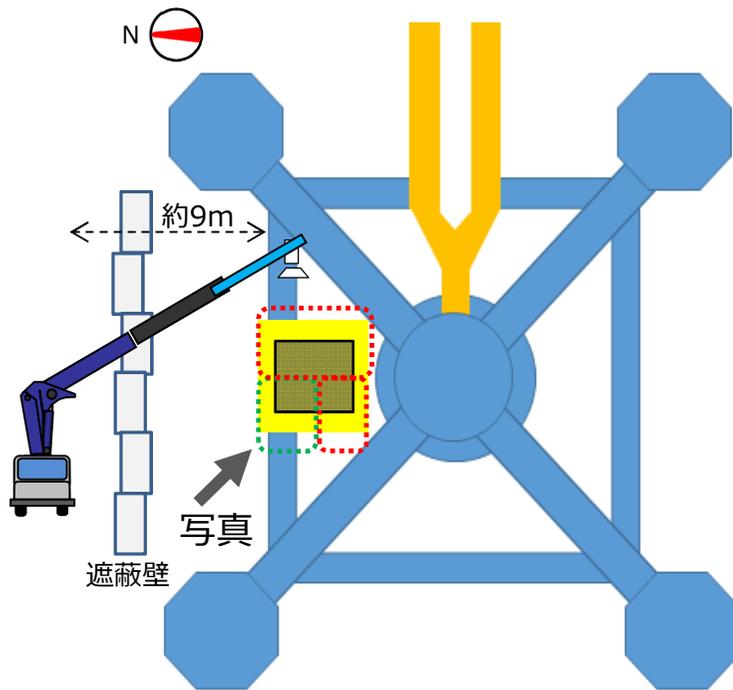
1. 1 / 2号機排気筒ドレンサンプピットの雨水流入について

- 1 / 2号排気筒の解体が完了し、2020年5月1日に排気筒上部に蓋を設置。排気筒上部の開口は約99%閉塞された（蓋設置前：約8m²、蓋設置後：約0.1m²※）ものの、降雨時にピット内の水位の上昇が確認されたため、流入経路の調査を実施した（2020年7月）。
- 調査の結果、ピットの南側から雨水が流れ込んでいると思われる痕跡を確認した。雨養生カバー南側面の開口からピット上部に雨水が入り、主にピット南側から流入しているものと推定した。
- 対策として雨養生カバー南側開口部へのカバー追設を2020年12月23日に行ったが、その後も降雨時にピット内の水位上昇を確認したことから、改めて流入箇所を調査するため、2021年4月27日、5月17日にピット周辺への散水を実施した。
- なお、排水ポンプ起動時以外の水位の低下は見られておらず、系外への流出はない。

※蓋側面切欠部と筒身段差部が重なる部分の面積。なお、蓋上部は可能な限り止水処理しており、雨水の流入はほぼ抑制できていると想定



2. 1 / 2号機排気筒ドレンサンプピット周辺への散水



■ 散水方法

ピット北側の位置に1 m³タンクを積載したユニック車を設置、クレーンにホースを固縛し、水中ポンプにて散水。

ピット北側には遮蔽壁が設置されていること、またユニック車を使用して遠隔で散水することで被ばく低減を図った。

-  散水箇所 (4/27 北西)
-  散水箇所 (5/17 北東, 南東, 南西)
-  ピット
-  コンクリート

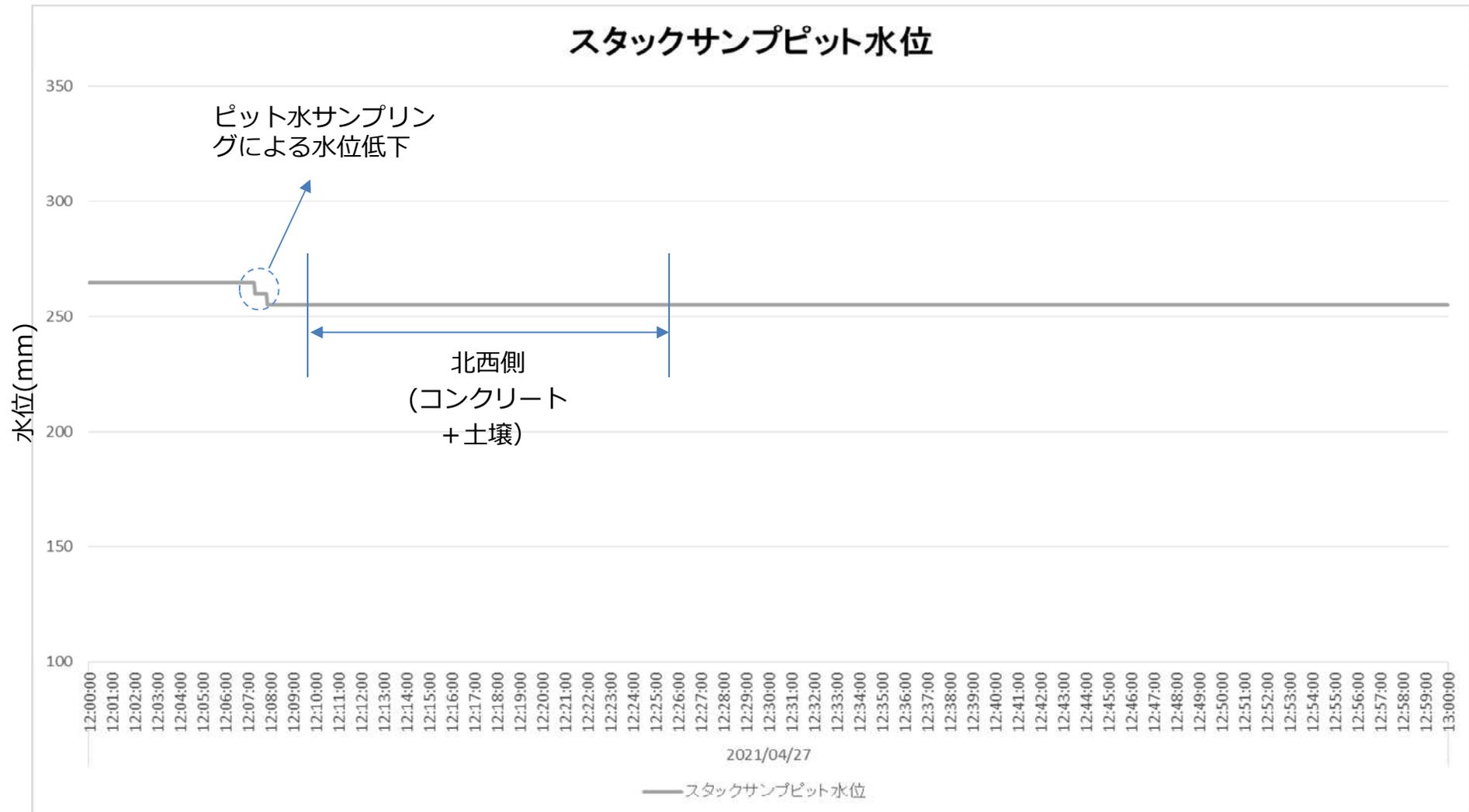


- 各方面の、コンクリート・土壌で散水した際の、ピット水位上昇の有無を調査。

2. 1 / 2号機排気筒ドレンサンプピット周辺への散水

■ 散水結果 4月27日【北西側】

約 1 m³ (コンクリート0.5m³、土壌0.5m³) 散水し、水位上昇はなし。

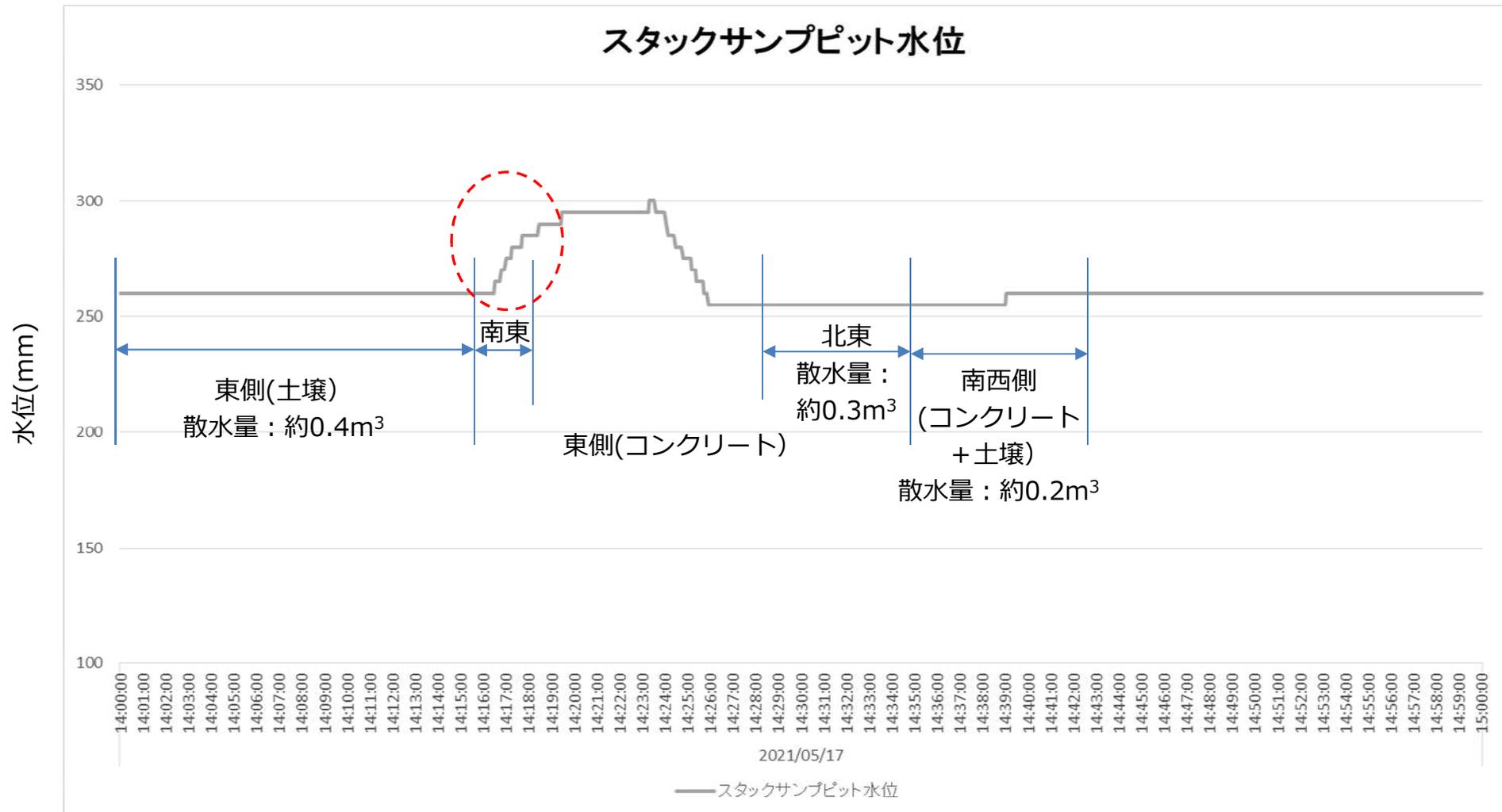


2. 1 / 2号機排気筒ドレンサンプピット周辺への散水

■ 散水結果 5月17日【南東側, 北東側, 南西側】

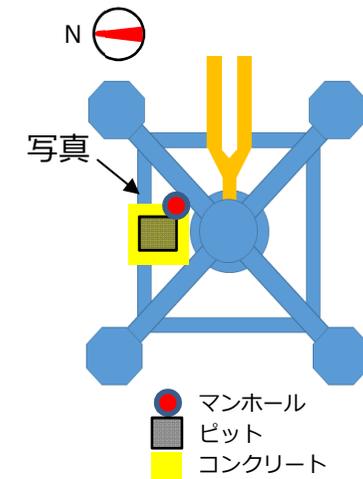
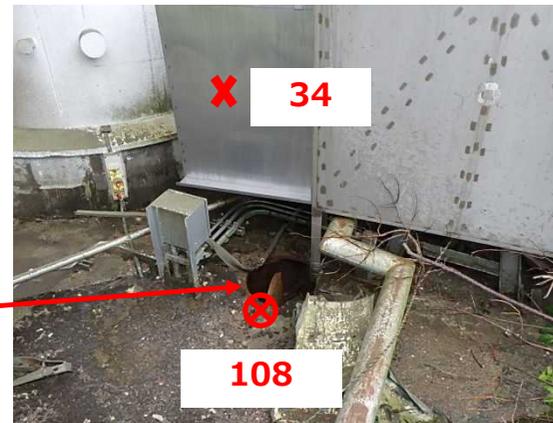
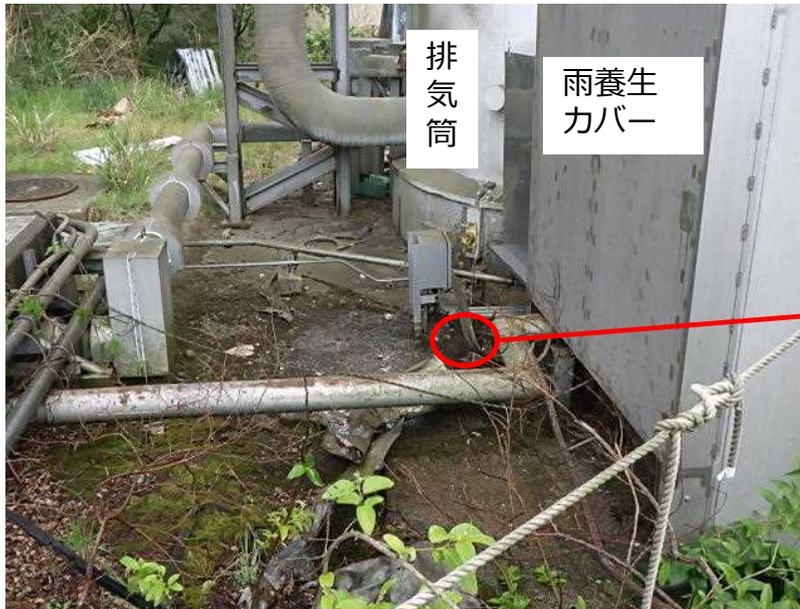
東側コンクリート（南東）に散水した際にピット水位上昇を確認

散水量：約0.05m³に対し、水位上昇が40mm（約0.04m³流入）



3. 1 / 2号機排気筒ドレンサンプピット東側の調査

- 水位上昇が確認された東側に対して、周辺の目視確認を実施。



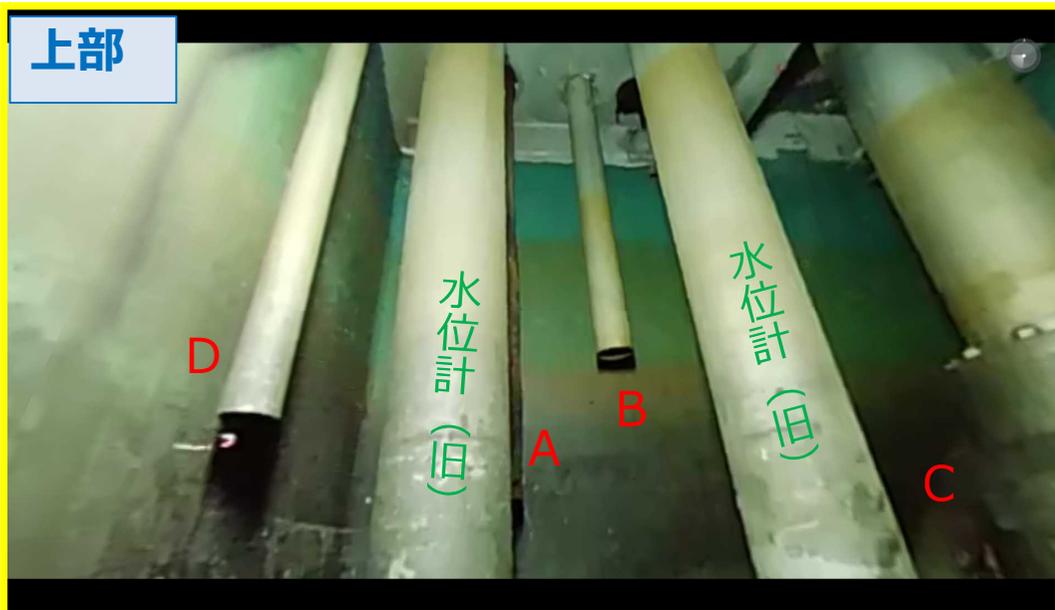
- ✗ 空間線量当量率 [mSv/h]
- ⊗ 表面線量当量率 [mSv/h]

2021.5.19測定

■ 調査結果

- ・ピット南東部にマンホールを確認。内部は土砂等が埋まっているように見える。
- ・南東部への散水で水位上昇が確認されており、ピットへの流入経路となっている可能性が高いことから、当該部を覆う方法を検討し、降雨時のピット水位上昇傾向を確認する。

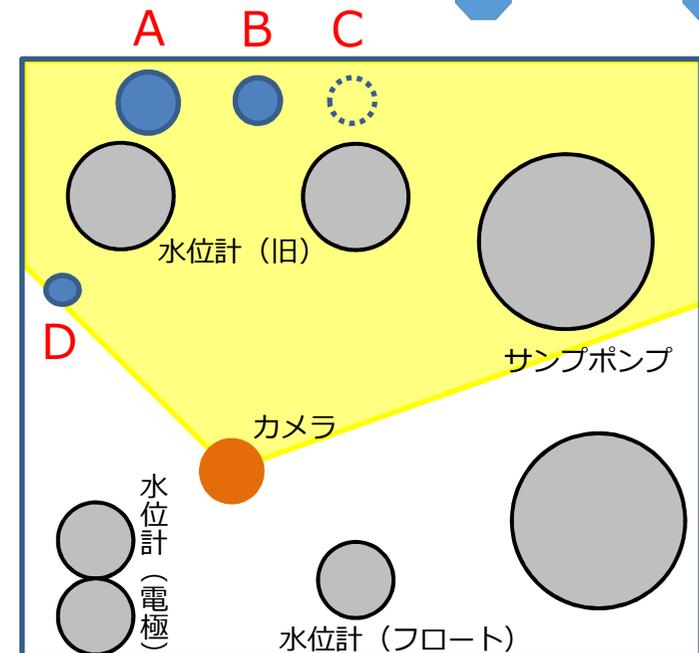
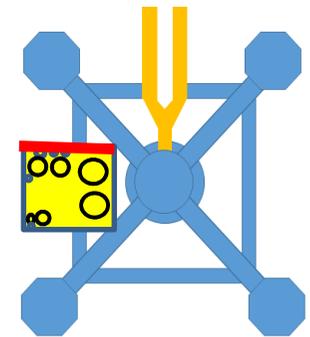
<参考> 1 / 2号機排気筒ドレンサンプルピット内部調査状況 (東)



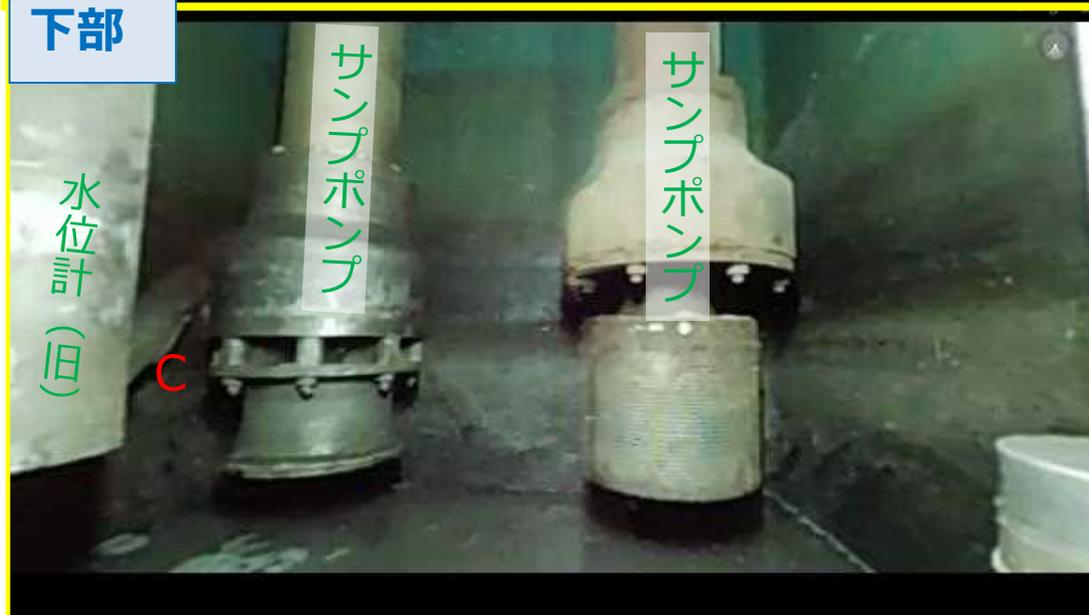
内壁面に流入／流出経路となるような跡は確認できなかった。
配管については、サンプルポンプミニフロー配管が脱落していることを確認した。

(2020.6.30)

- A.排気筒ドレン配管
- B.主排気ダクトドレン配管
- C.サンプルポンプミニフロー配管
- D.排気筒モニタドレン配管



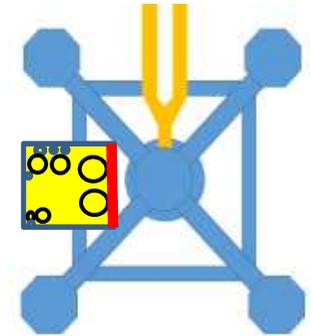
<参考> 1 / 2号機排気筒ドレンサンプルピット内部調査状況 (南)



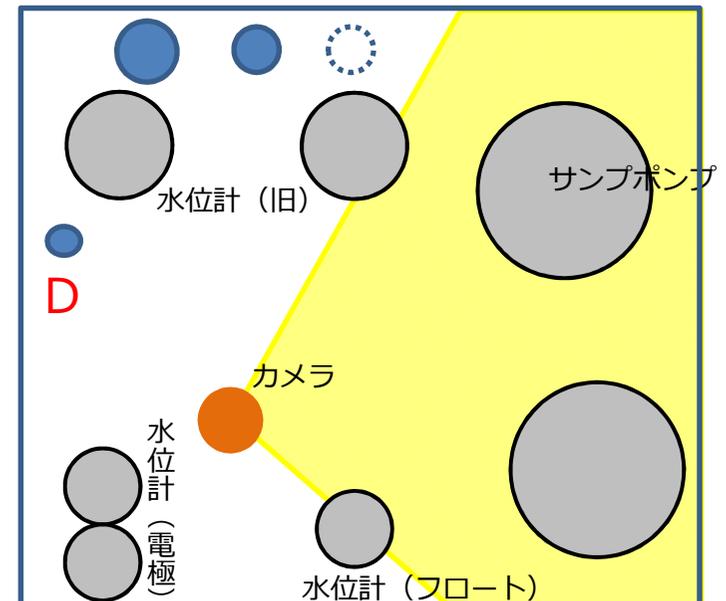
内壁面に流入／流出経路となるような跡は確認できなかった。
配管については、サンプルポンプミニフロー配管が脱落していることを確認した。

(2020.6.30)

- A.排気筒ドレン配管
- B.主排気ダクトドレン配管
- C.サンプルポンプミニフロー配管
- D.排気筒モニタドレン配管

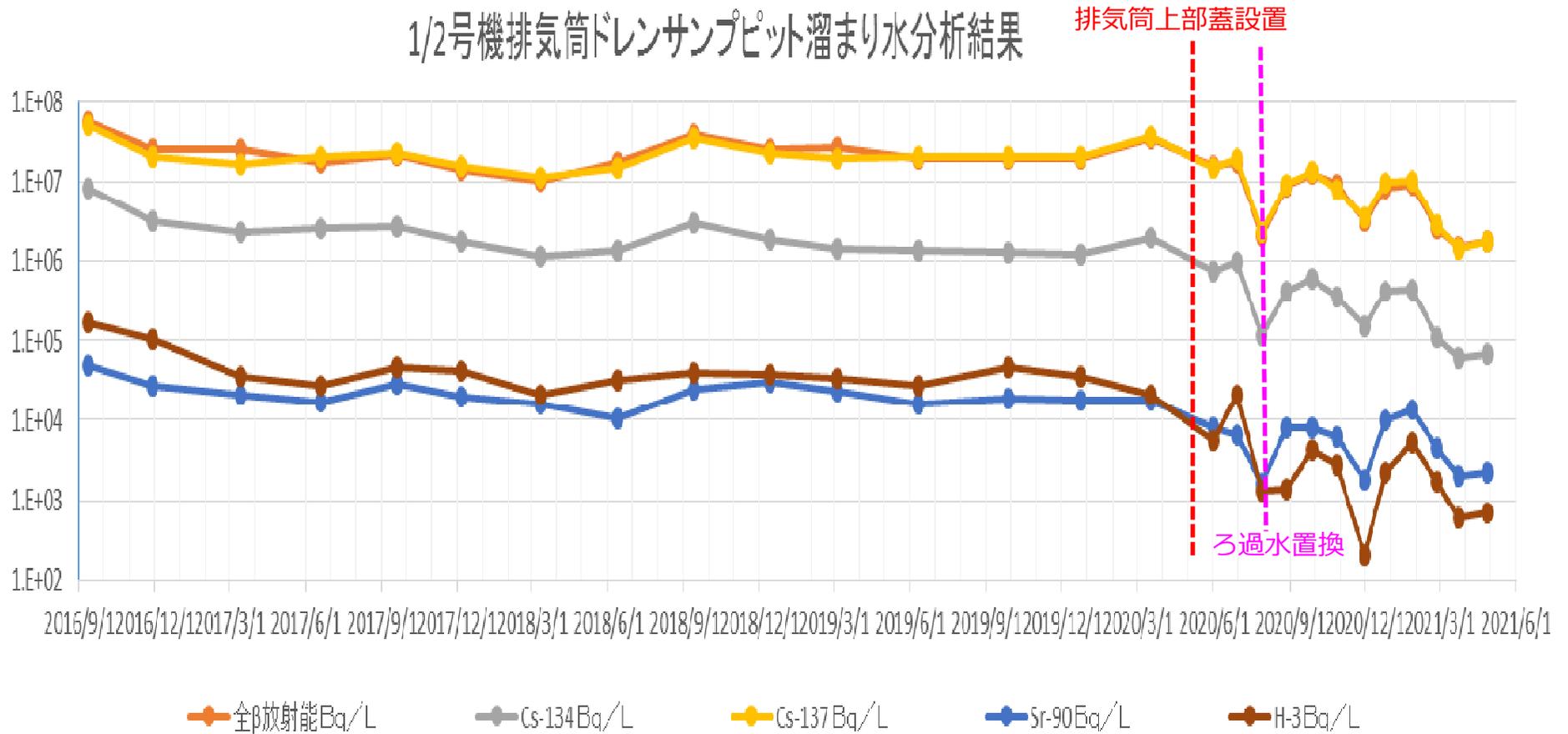


A B C

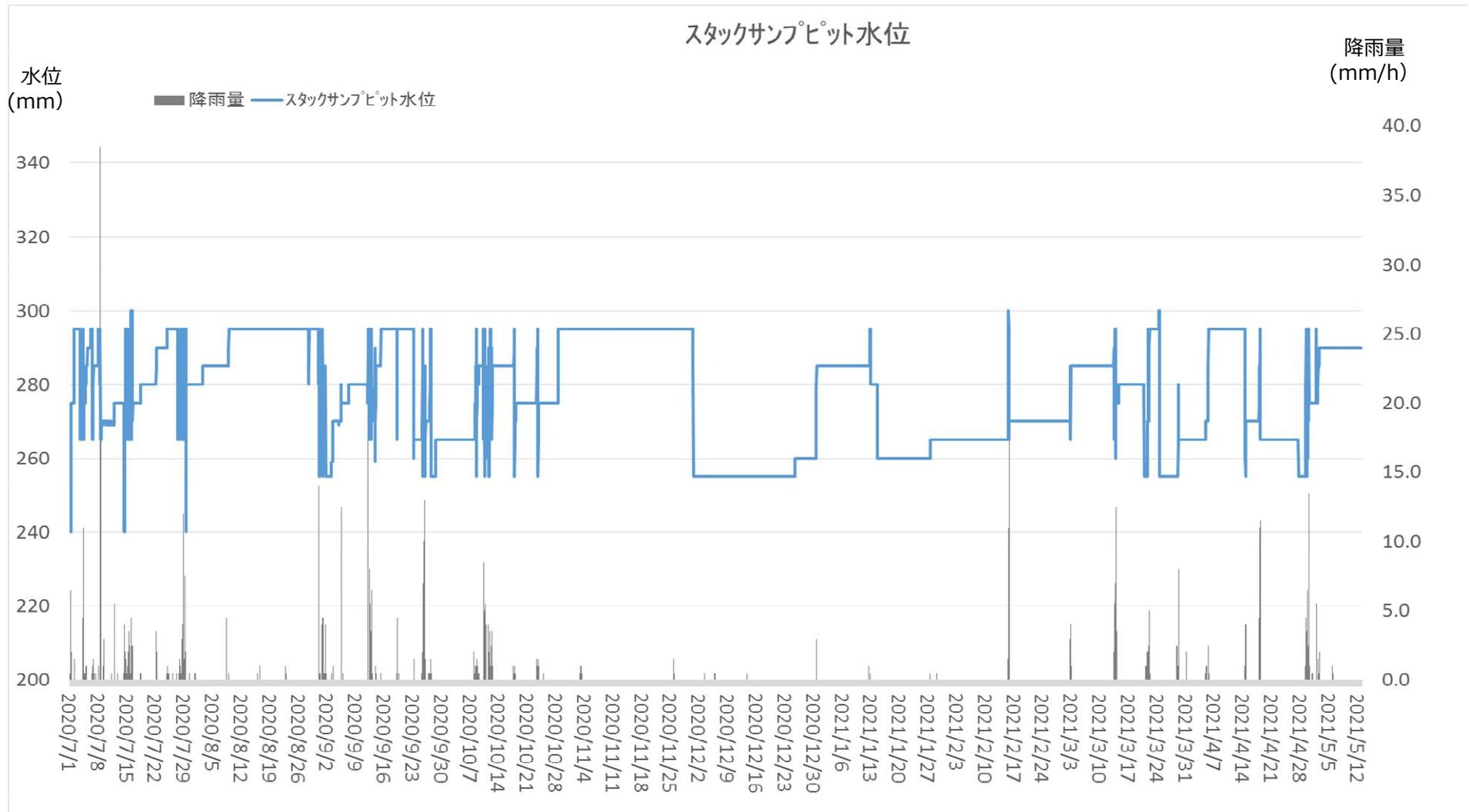


<参考> 1 / 2号機排気筒ドレンサンプルピット水質分析結果

1/2号機排気筒ドレンサンプルピット溜まり水分析結果

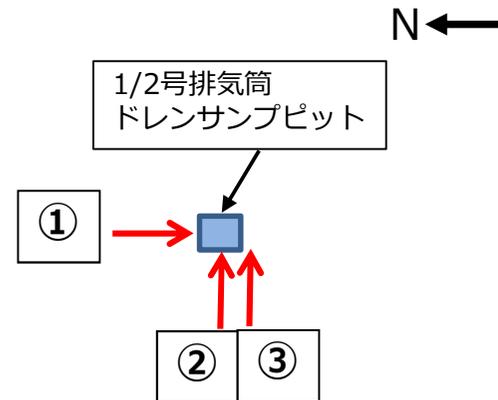


<参考> 1 / 2号機排気筒ドレンサンプピット水位 (2020.7~2021.5)



■ 現在ピット内水位については、通常通りの水位制御（300～260mm）を継続している。

<参考> 周辺の線量



⊗ : 表面線量当量率[mSv/h]

× : 空間線量当量率[mSv/h]

2019.12.9測定

測定器
ホットスポットモニター
(テレテクター)

